



2025.9 改訂	PD-0287
NO.	CATS-RMC-N-3

取 扱 説 明 書

※この説明書は必ず製品と一緒に保管して下さい。
 ※この説明書は必要に応じてコピーしてご使用下さい。

施工前に必ずお読み下さい

ケミカルアンカー[®] まくらぎ孔補修用カプセルの施工について

まくらぎ孔補修方法用カプセルは、補修用途および使用するボルトや穿孔寸法により使用するカプセルが選定されます。補修用途に適したカプセルを使用し、正しい施工を行ってください。

1. カプセルの種類と施工仕様

木まくらぎ・合成まくらぎ孔補修用カプセル（ガラス管タイプ）

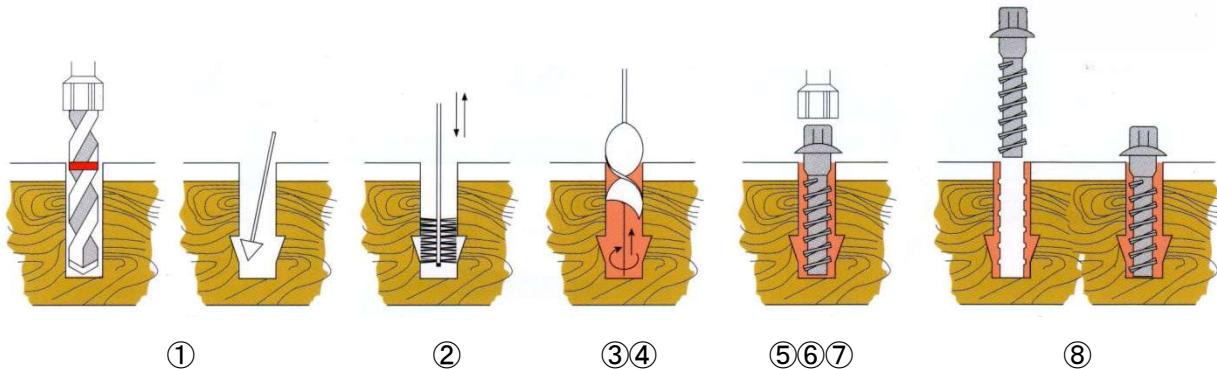
品 番	カプセル容量 (cm ³)	カプセル寸法 外径×長さ(mm)	削孔寸法(mm)		使用ボルト
			ビット径	深さ	
RM-2213CBN	40	21.0φ×130L	24	130	φ23スクリュースパイキ
RM-2290CBN	28	21.0φ×90L	RM-2213CBNの補充用		
RM-2213FCN	40	21.0φ×130L	24	130	φ23スクリュースパイキ
RM-2290FCN	28	21.0φ×90L	RM-2213FCNの補充用		

2. 硬化養生時間

品 名	施工環境温度別の硬化養生時間
	0 ≤ ~ < 35℃
RM-2213CBN (RM-2290CBN) RM-2213FCN (RM-2290FCN)	30分

3. 施工方法

木まくらぎ・合成まくらぎ孔補修方法



①母材穿孔
まくらぎの既存孔を所定の寸法で削孔します。
(必要に応じてルーター、アンダーカッターで
孔壁の拡張処置を施します。)

②孔内清掃
切粉を専用ナイロンブラシ、ブロア、掃除機等
で除去し、孔内の清掃を行います

③カプセル挿入
カプセルのキャップ側を孔底側に挿入します。

④カプセル攪拌
カプセルの攪拌は、電気ドリルに装着した専用
攪拌金具を用いて行います。(金具の先端が孔
底に達した時点で5～10秒程度攪拌し、回転
させながらゆっくりと抜き取ります。)

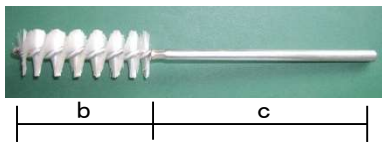
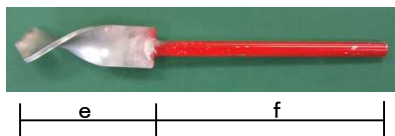
⑤ボルト埋め込み
ハンマードリルにてボルトに回転・打撃を与えな
がら埋込みを行います。(樹脂量がたらない場合
は、補充用カプセルを追加して下さい。)

⑥位置合わせ
樹脂の硬化が始まる前(埋込後即座)に治具を用
いて位置合わせを行います。

⑦硬化養生
硬化養生中は、ボルトに衝撃、荷重をかけないよ
うにしてください。

⑧締結装置セット
養生後に専用ボルトを抜き取り、締結装置をセッ
トします。

4. 専用ブラシ、専用攪拌金具

	品 番	適 用	形 状	寸法 (mm)	
A	VP-23K	孔内清掃用回転ドリル 装着型ナイロンブラシ		a	30
				b	90
				c	130
B	EK-22K	カプセル攪拌用(回転ドリル 装着型)		d	22
				e	80
				f	130

5. 取扱い上の注意事項

- 施工仕様(穿孔寸法、使用ボルト、カプセル等)を厳守して下さい。
- 孔内から溢れ出た樹脂は埋込終了後直ちに除去してください。
- 必ず専用ブラシ、専用攪拌金具が所定の寸法、形状を保っていることを確認してから使用してください。
摩耗などによりブラシ部、攪拌部が消耗している場合は、新しい専用ブラシ、専用攪拌金具に取り換えてください。そのまま使用すると清掃不良、攪拌不良により強度低下の原因になります。
- 穿孔は木まくらぎ、合成まくらぎの表面に対して垂直に行ってください。
- 補修前の木まくらぎ、合成まくらぎの状態を十分確認した上で施工して下さい。補修箇所が亀裂や顕著な欠損があると、強度低下の原因となることがあります。
- 硬化養生時間内は、アンカー筋を動かさないで下さい。
- 特殊な作業環境(高低温など、環境が通常と異なるもの)、標準外での施工の際は事前に当社までお問合せ下さい。
- カプセルは必ず冷暗所(0～30℃)に保管して下さい。高温場所等の悪環境で保管した場合、使用期限内でも使用できなくなることがあります。
- 穿孔は、へりあき、ピッチを十分確保して行って下さい。(特にアンカーが隣接して設置する場合には、1本あたりの許容強度が低下する場合があります。)
- カプセルは火気に絶対に近づけないでください。破裂する恐れがあります。また、カプセルは絶対に40℃以上にしないでください。
- ガラスの破片やカプセルの内容物の飛散に十分注意して下さい。
- カプセルを分解したり、内容物を取り出して使用しないで下さい。
- 作業中も直射日光にあてないで下さい。屋外で使用する際は、梱包ケースごと日陰に置き、数本ずつ取り出して使用して下さい。カプセルの品質保証期間は製造日から6ヵ月間です。カプセル使用前に必ず使用期限内であることを確認してからご使用下さい。
- カプセルが破損しているもの、内部の樹脂に流動性がないものは絶対に使用しないで下さい。
- 本製品は接着系あと施工アンカーであり、それ以外の用途で使用しないで下さい。
- 補充用のカプセルのみでの補修は行わないでください。

取扱い上の注意事項

使用前に安全データシートを入手して読み、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないで下さい。本紙の注意事項に従わなかった場合、あるいは当社以外に判断により生じた災害については、当社は一切の責任を負いません。

製品名:ケミカルアンカー・RMC、RMF タイプ		
【主剤】に関する有害情報 ○アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ ○強い眼刺激 ○生殖能又は胎児への悪影響のおそれ ○視覚器、全身毒性、中枢神経系の障害のおそれ ○長期にわたる、又は反復ばく露による血液系、呼吸器系、肝臓、脾臓、視覚器、中枢神経系の障害のおそれ  危険	【骨材】に関する有害情報 ○遺伝子疾患のおそれの疑い ○発がんのおそれ ○長期又は反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓の障害  危険	【硬化剤】に関する有害情報 ○アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ ○強い眼刺激 ○呼吸器への刺激のおそれ ○水生生物に非常に強い毒性  警告
【主剤、骨材及び硬化剤】に関する情報 <安全対策> ○使用前に取扱説明書を入手すること。○全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。○保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/防じんマスクを着用すること。○屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。○粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。○取扱い後は手をよく洗うこと。○汚染された作業着は作業場から出さないこと。○環境への放出を避けること。○この製品を使用する時は、飲食又は喫煙をしないこと。 <応急処置> ○皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。○皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。○吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。○気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。○眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。○眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。○ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。○汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。○漏出物を回収すること。 <保管> ○直射日光を避け、冷暗所(0～30℃)に保管すること。○喚起の良い場所で保管すること。○容器を密閉しておくこと。○施錠して保管すること。 <廃棄> ○内容物/容器を国/都道府県/市長村の規則に従って破棄すること。		

製造元 **日本デコラックス株式会社**

〒480-0103 愛知県丹羽郡扶桑町柏森前屋敷 10

製品・納期に関するお問い合わせはこちらまで

カスタマー
センター



0120-19-3501
E-mail customer@decoluxe.co.jp